

第2回白馬村社会福祉推進委員会
(白馬村高齢者福祉計画策定委員会) 会議録(要約)

召 集 年 月 日	平成27年3月2日（月）午後1時30分							
召 集 の 場 所	保健福祉ふれあいセンター2階 学習室							
開閉会の日時 及 び 宣 言	開会	平成27年3月2日（月）午後1時30分			事務局	山岸係長		
	閉会	平成27年3月2日（月）午後3時20分			副会長	澤渡 裕子		
出 席 者 数	委員数 16名の内 出席者12名							
出 席 委 員	職 名	氏 名		出欠	職 名	氏 名		出欠
	副会長	澤渡 裕子		出	委 員	西沢 千賀子		出
	委 員	栗田 裕二		欠	委 員	田中 輝子		欠
	委 員	武田 進		出	委 員	吉沢 篤		出
	委 員	田中 栄一		欠	委 員	太田 園恵		出
	委 員	細田 昌義		出	委 員	今野 清子		出
	委 員	石川 紳		欠	委 員	降旗 陽子		出
	委 員	山岸 圭子		出	委 員	石田 美和		出
	委 員	石原 綾子		出	会 長	山岸 俊幸		出
事 務 局	健康福祉課 課長		太田 洋一		健康福祉課 福祉係長		山岸 久美子	
	健康福祉課 主幹		内山 明子					
傍 聴 者	なし							

1. 開 会

〔事務局：山岸係長〕 開会を宣言した。田中委員、太田課長が議会開催で遅れること、石川委員、栗田委員、田中（輝）委員が欠席であると報告した。

2. あいさつ

〔山岸会長〕 第2回策定委員会への出席に対しお礼を述べ、協議の協力をお願いした。

3. 協議事項

（1）計画素案について

〔山岸会長〕 計画案について、事務局に説明を求めた。

〔事務局：山岸係長〕 第1回会議で意見が出された、計画の検証について、説明を加え修正した事を報告した。第1章から第3章について計画案について、説明した。

〔事務局：内山〕 第4章から第7章まで説明した。

〔山岸会長〕 本日配布した資料は、「素案」から出された意見を反映し「案」とし、修正箇所には下線を引いてあるので、これらの確認と「資料1」で、網掛けの部分について委員の皆さまから意見を伺いたいことや、修正意見の内容についてももう少し伺いたいことを説明し、第1章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔細田委員〕 中間評価において、委員任期は大丈夫か？

〔事務局：山岸係長〕 27年度中であることを説明した。

〔武田委員〕 「いきいきプラン長寿白馬21」の21は？

〔事務局：山岸係長〕 21世紀の21である。

〔山岸会長〕 第2章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特に意見はなかった。

〔山岸会長〕 第3章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔西沢委員〕 「支え合いのしくみ」は、基本目標ではなく施策にして、目標には「高齢者の尊厳」をいれてほしい。

〔石原委員〕 「支え合い」は、基本理念に歌われている。

〔細田委員〕 高齢者同士が支え合うという理念を、取り入れたい。

〔石原委員〕 基本理念に「ともに支え合い」はどうか？

〔武田委員〕 高齢者の尊厳という表現は、難しい。理解しにくい。あえて尊厳を使わなくてもいい。

〔西沢委員〕 高齢者になると、尊厳が守られない。重要なキーワードだと思う。

〔石原委員〕 尊厳という言葉は、どこにでも福祉関係にはつくが、自立とすればそれでいい。

〔石田委員〕 尊厳というより、プライドはどうか？

〔石原委員〕 誇りは？

〔武田委員〕 高齢者の尊厳はないほうがいい。

〔西沢委員〕 支え合いは、権利擁護の内容には合わない。「住み慣れた地域で・・・」に入れた方がいい。
災害時は、「住み慣れた地域・・・」に入れた方がいい。

〔西沢委員〕 先ほど出た、誇りという表現が、わかりやすいのでいいと思う。

〔石田委員〕 自立は、一人でできるイメージ。

〔石田委員〕 高齢者が誇りを持って暮らし続けるはどうか？

〔山岸会長〕 ほかの議論を得てから、再検討しましょう。

〔山岸会長〕 第3章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔事務局：内山〕 第6期北アルプス広域連合介護保険事業計画の重点事項を追加したことを説明した。

〔石田委員〕 介護保険サービスと、地域支援事業は内容が違うのか？

〔事務局：内山〕 介護保険サービスは、全国共通。地域支援事業は、それぞれの自治体の状況に合わせて実施する。

〔細田委員〕 地域支援事業と、介護保険の対象者のすみ分けは？

〔事務局：内山〕 通所介護、訪問介護以外を使う方は、介護保険と聞いている。今後、詳細な移行について、北アルプス広域連合と詰めていく。

〔細田委員〕 生活支援コーディネーターについては、計画に明記しておいた方がいいと思う。

〔山岸会長〕 第4章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔事務局：内山〕 修正点等について、説明した。

〔吉沢委員〕 目標については、ある程度具体的な目標がいいと思う。

〔事務局：内山〕 表現について、検討したい。

〔細田委員〕 支え合いのしくみという言葉を変えればいい。「高齢者が誇りを持って暮らし続けるしくみ」にすると、難しい言葉ではなくていいのでは。

〔事務局：内山〕 おむつ用品等購入補助について、上限 5,000 円とあるが、75,000 円に訂正をお願いしたい。

〔石田委員〕 どのくらいいるのか？

〔事務局：内山〕 10 人程度である。上限の見直しや対象者の見直しについて見直しも検討されている。

〔西沢委員〕 地域支援事業の中に、包括的支援事業、介護予防事業、任意事業があるのではないかと？

〔事務局：内山〕 地域支援事業の中の、介護予防事業については、第 5 章にて述べている。すべての項目が、関連しており明確に分けられない。

〔山岸会長〕 第 5 章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔事務局：内山〕 修正点等について、説明した。

〔事務局：太田課長〕 介護予防等の拠点となる施設の整備については、具体的には、堀之内、三日市場地区の集会施設を整備するもので、国への申請が通るかはまだ未定であるが、高齢者計画に盛り込む必要がある。

〔山岸会長〕 第 6 章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔事務局：内山〕 修正点等について、説明した。

〔西沢委員〕 日常生活自立支援事業は、大町社協に委託しているが委託数が多く、時間がかかり困っている状況がある。白馬村社協でできないか？

〔山岸会長〕 社協としては、委託を継続する。

〔山岸会長〕 第 7 章に対し、事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔事務局：内山〕 修正点等について、説明した。

〔山岸会長〕「支え合いのしくみ」の表現はどうするか？

〔事務局：内山〕先ほどの意見のとおり、「高齢者が誇りを持って暮らせるしくみ」とし、災害時支援は第4章に乗せる。

〔山岸会長〕基本理念はどうするか？

〔石田委員〕「認め合いともに支え合う あたたかい村づくり」はどうか？

〔石原委員〕ともに支えあうというのがいい。

〔山岸会長〕委員に意見を求めた。

反対意見などなく、「認め合い ともに支えあう あたたかい村づくり」を基本理念とした。

4 その他

〔山岸会長〕 その他について、事務局に説明を求めた。

〔石原委員〕これから大変な時代になるが、健康福祉課と社協を1フロアーにする発想はないか？

〔石田委員〕これから、資金がかかるので、資金を増やす事を考えたらどうか？おむつをまとめ買いして第3セクターで販売するなども、検討したらどうか？

5 閉 会

〔沢渡副会長〕 閉会を宣言した。

終了 15：35

以 上